

東京防災隣組 第二回認定団体活動事例集



INDEX 【目次】

部門Ⅰ 地域住民間の連携

神田淡路会（千代田区）	P6	高尾台自治会防災会（八王子市）	P16
シーリアお台場5番街6号棟となり組（港区）	P6	高尾パークハイツA棟自衛消防隊（八王子市）	P17
京一旭町会（墨田区）	P7	大山自治会（立川市）	P17
小山5丁目町会 五友會（品川区）	P7	下連雀若葉会（三鷹市）	P18
戸越2丁目町会 区民消防隊・ミニポンプ隊（品川区）	P8	東青梅五丁目自治会（青梅市）	P18
品川区防災協議会八潮地区協議会（FMやしお）（品川区）	P8	車返西防災委員会（府中市）	P19
荏原4丁目町会（品川区）	P9	上ノ原まちづくりの会（調布市）	P19
入新井四丁目町会（大田区）	P9	シーアイハイツ町田自主防災管理組織（町田市）	P20
萩中町会（大田区）	P10	豊田団地自主防災会（日野市）	P20
新橋地区防災会（渋谷区）	P10	高木町自治会防災部（国分寺市）	P21
南池袋二三四町会（豊島区）	P11	本多連合町会防災委員会（国分寺市）	P21
十条地区防災会議（北区）	P11	泉町三丁目地区連合自治防災会（国分寺市）	P22
原レスキュー隊（荒川区）	P12	東恋ヶ窪六丁目自治会防災委員会（国分寺市）	P22
荒川中央町会レスキュー隊（荒川区）	P12	新町地区連合自治防災会（国分寺市）	P23
六本レスキュー隊（荒川区）	P13	戸倉自治会中・西・北地区防災会（国分寺市）	P23
志村五桜町会（板橋区）	P13	光町北部自治会（国分寺市）	P24
光が丘地区連合協議会（練馬区）	P14	戸倉自治会東地区防災会（国分寺市）	P24
大泉北泉町会（練馬区）	P14	北二丁目みどり会（国立市）	P25
鷺宿町会（足立区）	P15	南田園四地区自主防災組織（福生市）	P25
本木一丁目南町会（足立区）	P15	東寺方自治会（多摩市）	P26
金町マンション自治会（葛飾区）	P16	東長沼自治会自主防災組織（稲城市）	P26

部門Ⅱ 地域住民と地域コミュニティ・事業者等との連携

湊一丁目町会（中央区）	P28	常盤中学校避難所運営会議（葛飾区）	P33
港区立小中一貫教育校お台場学園港陽小・中学校、お台場地区防災協議会（港区）	P28	中野町甲和会（八王子市）	P33
港南防災ネットワーク（港区）	P29	大野田地域防災の会（武蔵野市）	P34
芝浦小地区防災協議会（港区）	P29	一小地域防災ネットワーク（武蔵野市）	P34
新宿駅周辺防災対策協議会（新宿区）	P30	あきしま・街づくり市民会議・なかがみ（昭島市）	P35
四谷地区町会連合会（新宿区）	P30	松風防災会（小金井市）	P35
若林町会（世田谷区）	P31	東小川橋地区防災対策連合会、社会福祉法人黎明会（小平市）	P36
玉川町会（世田谷区）	P31	学園自治会自主防災会（武蔵村山市）	P36
南長崎4・5・6丁目防災まちづくりの会（豊島区）	P32	西秋留地区防災・安心地域委員会（あきる野市）	P37
千川中学校・PTA・町会地域貢献チーム（豊島区）	P32		

部門Ⅲ 企業間の連携

アサヒ商店街振興組合（台東区）	P38	杉並建物総合管理事業協同組合（杉並区）	P39
自由が丘商店街振興組合（目黒区）	P39		

はじめに

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の教訓を踏まえ、東京の防災力を向上するために、平成24年11月、都は5年ぶりに「東京都地域防災計画」を修正いたしました。首都直下地震に備え、災害に強いまちづくりを実現するためには、行政による「公助」のみならず、地域における「自助」「共助」の果たす役割がとりわけ重要です。

こうしたことから、東京都は、大都市東京における共助の仕組みとして、地域において意欲的な防災活動を行う団体を「東京防災隣組」として認定し、その取組を広く社会に発信し、地域の防災活動の活性化を図っています。

今般、昨年の第一回認定に引き続き、64の団体を第二回東京防災隣組として認定いたしました。

本事例集は、各認定団体の取組をまとめたもので、木密地域や大規模集合住宅におけるきめ細かい防災対策や、若い世代の参加を促す取組など、地域特性に応じた様々な活動を紹介しています。

本事例集により、都内各地で防災活動を行っている皆様の今後の取組の一助となれば幸いです。

平成25年4月

東京都総務局総合防災部

部門 I 地域住民間の連携

区市町村名	団体名	取組内容
千代田区	神田淡路会	隣接6町会が連携して取り組む地域の防災活動
港区	シーリアお台場5番街6号棟 となり組	高層マンションにおける隣近所の助け合い活動
墨田区	京一旭町会	木造住宅密集地域での災害時要援護者への見守り活動
品川区	小山5丁目町会 五友會	神輿の担い手を中心となった継続的な防火防災の取組
品川区	戸越2丁目町会 区民消防隊・ ミニポンプ隊	周辺町会への応援出場も視野に入れた区民消防隊による防火防災活動
品川区	品川区防災協議会八潮地区協議会 (FMやしお)	ミニFMラジオ放送による災害時の情報支援
品川区	荏原4丁目町会	グループ体制による消火器や備蓄品等の普及活動
大田区	入新井四丁目町会	市民消防隊がリードする地域の防災活動
大田区	萩中町会	実践的な防災訓練と新たな防火の担い手の育成
渋谷区	新橋地区防災会	「地域が守る」災害に強いまちづくりのための様々な取組
豊島区	南池袋二三四町会	定期的な防災訓練と普及啓発による地域防災力の向上の取組
北区	十条地区防災会議	十条地区管内 全七町会が一丸となって震災総合訓練を実施
荒川区	原レスキュー隊	「わが街は我等が守る！」をモットーとする災害発生時の救出・救助活動
荒川区	荒川中央町会レスキュー隊	木造住宅密集地域を住民たちの手で守る区民レスキュー隊
荒川区	六本レスキュー隊	祭りを運営する若いメンバーを中心とした区民レスキュー隊
板橋区	志村五桜町会	地域の高齢者福祉施設と顔の見える関係を築き災害時要援護者を支援
練馬区	光が丘地区連合協議会	大規模団地のまちで進める多種多様な防災活動
練馬区	大泉北泉町会	住民同士顔の見える関係を重視した災害に強いまちづくり
足立区	鷺宿町会	地域のつながりで命を守る
足立区	本木一丁目南町会	町会と病院で消防隊を結成し住宅密集地域の火災被害を軽減
葛飾区	金町マンション自治会	“災害時要援護者をどう支えるか”～大規模住宅での要援護者の搬送訓練～

区市町村名	団体名	取組内容
八王子市	高尾台自治会防災会	個別支援プランに基づくきめ細かな災害時要援護者避難支援対策
八王子市	高尾パークハイツA棟自衛消防隊	高層マンションにおける災害時要援護者避難支援対策
立川市	大山自治会	「人が人に優しいまちづくり」～人を“繋げる”大山団地の取組～
三鷹市	下連雀若葉会	大火の歴史を意識した防火・防災対策と祭りを活用した町会活動のPR
青梅市	東青梅五丁目自治会	災害時要援護者マップ作成と防災ボランティアによる安心・支え合いネットワーク
府中市	車返西防災委員会	ボランティアを活用した集合住宅における安否確認等の取組
調布市	上ノ原まちづくりの会	NPO法人の防災訓練プログラムを取り入れた特色ある防災訓練「上ノ原かえっこ防災訓練」
町田市	シーアイハイツ町田自主防災管理組織	高層マンションにおける災害特性を考慮した安否確認や搬送訓練
日野市	豊田団地自主防災会	木造住宅地での発災対応訓練、災害時要援護者対策等の取組
国分寺市	高木町自治会防災部	子どもから大人まで参加できる防災イベント「高木町防災ファミリーひろば」
国分寺市	本多連合町会防災委員会	「本多防災ひろば」などイベントを通じて地域の輪を広げる取組
国分寺市	泉町三丁目地区連合自治防災会	ゲーム感覚で楽しみながら参加できる「防災コンクール」
国分寺市	東恋ヶ窪六丁目自治会防災委員会	まちづくり宣言の下、防災力の向上と住民が信頼の輪で結ばれる温かい地域を目指す取組
国分寺市	新町地区連合自治防災会	地域のお祭りを活用した防災訓練で、若い世代との交流と防災スキルアップを実現
国分寺市	戸倉自治会中・西・北地区防災会	地域で先駆けて「災害協力農地」の仕組みを創設
国分寺市	光町北部自治会	神社を拠点にした防災訓練や子ども祭り、井戸端会議などで地域コミュニティを活性化
国分寺市	戸倉自治会東地区防災会	大規模な訓練による住民の災害対応力と防災意識の向上
国立市	北二丁目みどり会	「ためになるマップ」の作成など防災と福祉を結びつける取組
福生市	南田園四地区自主防災組織	4つの自主防災組織が合同で行う水防訓練を始めとする防災活動
多摩市	東寺方自治会	継続的な防災訓練と夜警による安全安心なまちづくり
稲城市	東長沼自治会自主防災組織	将来の防災を担う子供たちの育成～地域の和と絆を育む活動～

神田淡路会（千代田区）

隣接6町会が連携して取り組む地域の防災活動

【取組概要】

- 隣接6町会が連携して、防災訓練・体験学習・講演会等を毎年実施
- 夜間照明訓練や町会別バケツリレーなどの創意工夫を凝らした訓練
- 東日本大震災で救援活動をした方の体験談を中心とした懇談会など普及活動にも力を入れている
- 加盟町会と地域内の社会福祉施設で災害時応援協定を締結し、震災時等の協力体制を構築



シーリアお台場5番街6号棟となり組（港区）

高層マンションにおける隣近所の助け合い活動

【取組概要】

- 「隣近所との日ごろからのつながりによって」がスローガン
- 災害発生時の安否確認や防犯・見守りの訓練を実施
- 棟を3グループに分け、グループリーダーと、各階に班長を配置。発災時に隣近所に声をかけて安否確認を行う
- 発災時に住居のドアノブに安否確認カードを表示する取組を実施
- 地域コミュニティ醸成のため、昔遊び(紙芝居等)のイベントを実施



京一旭町会（墨田区）

木造住宅密集地域での災害時要援護者への見守り活動

【取組概要】

- 平成17年から災害時要援護者サポート隊の訓練に取り組む
- 要援護者に黄色のタオルを配布し、発災時の安否確認にあたる
- 年3回の防災訓練では4ヶ所での発災型初期訓練と見守り確認を実施
- 毎月の町会役員会で必ずスタンドパイプの点検と操作訓練を実施
- 町内を4地区、その下部に50組、8から10世帯をグループに分けて、日々の安否確認などにあたる



負傷者搬送訓練



安否確認の黄色いタオル



災害時要援護者支援訓練

小山5丁目町会 五友會（品川区）

神輿の担い手を中心とした継続的な防火防災の取組

【取組概要】

- 35年余にわたる夜間警戒活動で、地域住民の防火防災意識を向上
- 町会の神輿の担い手約100名が、区域内的の夜間警戒活動を継続。火災多発期の12月から3月までの4か月間に、2～3人が輪番で実施
- 月に1回、夜警に小学生が参加。将来の地域防災のリーダー、担い手を育成
- 2代にわたり活動を続けている親子もある



子供も参加した夜警



子供も参加した夜警



夜警グッズ

戸越2丁目町会 区民消火隊・ミニポンプ隊（品川区）

周辺町会への応援出場も視野に入れた 区民消火隊による防火防災活動

【取組概要】

- 昭和50年代に、戸越銀座商店街の店主等が区民消火隊を、町会婦人部が母体のミニポンプ隊を結成
- 災害時の迅速な対応のため街頭消火器や防火水槽の設置状況を確認
- 火災危険度が高い周辺町会に応援出場できるよう、周辺町会も含めた水利マップを作成
- 町会員の子どもたちの会（二世会）の親睦活動で防災の担い手を育成



実際の火を使っでの訓練



可搬式ポンプ操法訓練



戸越2丁目町会の隊員

品川区防災協議会八潮地区協議会（FMやしお）（品川区）

ミニFMラジオ放送による災害時の情報支援

【取組概要】

- 発災時に高齢者を始めとする多くの住民に正確な情報を一斉に伝える手段として、平成17年にミニFM放送局を設立
- 平成22年に常設スタジオを設置し、毎週土曜日の定時放送を実施
- 八潮地区総合防災訓練、資機材点検での情報支援を実施
- 地域イベント（八潮まつり、地域センターフェスティバル等）にも積極的に参加し、地域住民の防災意識の向上とコミュニティづくりに取り組む



八潮地区総合防災訓練



八潮まつりでの放送



常設スタジオ

荏原4丁目町会（品川区）

グループ体制による消火器や備蓄品等の普及活動

【取組概要】

- 町会内に防災グループ体制を整備
- 各世帯への防災対策の調査を基に①家具転倒防止器具の設置、②家庭用消火器の配備、③備蓄持出用品の普及を3グループ体制で推進
- 住民参加型の防災訓練を実施。消火器、スタンドパイプ、D級ポンプの操作手順確認訓練や、炊出し訓練などを実施
- 「ふるさとまつり」にて、防災活動を知ってもらうためのブースを出展



スタンドパイプ操作訓練



応急給水袋の説明



D級ポンプ操法訓練

入新井四丁目町会（大田区）

市民消火隊がリードする地域の防災活動

【取組概要】

- 昭和49年に市民消火隊を発足。以来、毎月1回定例的に訓練を実施
- 市民消火隊が中心となり、毎年末に夜警を継続
- 「災害時要援護者支援組織」を結成。役員や協力員が支援対象者宅を訪問し、平時の見守り、火災予防の呼びかけなどを実施
- 地域の祭りの際の警戒を、市民消火隊が制服で担当し、消火隊のPR・勧誘を実施



総合防災訓練



消火隊の放水訓練

萩中町会（大田区）

実践的な防災訓練と新たな防火の担い手の育成

【取組概要】

- 毎年1回、500人規模の防災訓練を実施。訓練では町会役員が作成した消火ハウスを燃やして放水訓練を行う
- 中学校と連携し、防災訓練に中学生が参加。市民消火隊が指導し、中学生が可搬ポンプの放水訓練を実施
- 災害時要援護者に対して、直接訪問や電話による確認等を、見守り隊50名が毎月実施。3か月に1度、見守り隊が集まり、報告会を開催



中学生の訓練参加



消火ハウス

新橋地区防災会（渋谷区）

「地域が守る」災害に強いまちづくりのための様々な取組

【取組概要】

- 毎年テーマを絞り工夫を凝らし実践に即した訓練を実施
- 地域の運動会では、備蓄品借り物競争や地域の防災クイズなど、楽しみながら防災意識を向上
- 地区内の避難所となる2つの小学校の引き取り訓練にも毎回大勢で参加し、児童・保護者を一時集合場所まで引率するなど、保護者も含め啓発
- 各戸の軒先にバケツを配備し、初期消火力を強化



地区防災訓練



救命救護訓練



児童引き取り訓練

南池袋二三四町会（豊島区）

定期的な防災訓練と普及啓発による地域防災力の向上の取組

【取組概要】

- 首都直下地震を想定した初動対応訓練と避難所運営訓練、小学校・公園等を会場とした消火、救出、救助訓練など年4回防災訓練を実施
- 町会内に防火担当員を組織し、D級消火ポンプ操法訓練を実施。消火器、スタンドパイプ、バケツリレーによる消火訓練も実施
- 全町会員を対象にAED講習を開催
- 災害時要援護者の日常的な見守り活動と、車椅子の搬送訓練を実施



十条地区防災会議（北区）

十条地区管内 全七町会が一丸となって震災総合訓練を実施

【取組概要】

- 小型ポンプ（C級D級）を使用した消火隊を編成し、定期的に初期消火訓練を実施
- 油圧ジャッキ、エンジンチェーンソーによる救出訓練を実施
- 心臓マッサージ、AEDによる蘇生、救命訓練を実施
- 災害弱者、一般避難者、帰宅困難者等の避難誘導訓練を実施
- 無線による通信体制・各町会相互の連絡網確立訓練を実施



原レスキュー隊（荒川区）

「わが街は我等が守る！」をモットーとする
災害発生時の救出・救助活動

【取組概要】

- 災害時における隣保共助体制の確保を目的として平成7年に結成
- 月2回、定期訓練(救助資器材取扱い、初期消火)を実施
- 年3回、消防署員の指導のもと、応急救護訓練を実施
- 防災訓練において、消防署及び荒川区と連携し町会員等へ指導
- 火災予防運動及び歳末の夜警を町会や地元消防団と連携して実施
- 月1回、町会役員及び中学生と協働で町内のゴミ拾いを実施し、放火対策等に貢献



がれきからの救助



負傷者誘導



担架搬送

荒川中央町会レスキュー隊（荒川区）

木造住宅密集地域を住民たちの手で守る区民レスキュー隊

【取組概要】

- 緊急車両進入困難地域、木密地域において「町会の安全な街づくり」、「自分達の街は自分達で守る」をモットーに平成9年に結成
- 年4回、定期訓練(救助資器材取扱い、初期消火、応急救護)を実施
- 毎年、敬老の日に町会が75歳以上の方への贈り物を1軒1軒贈呈する際に、レスキュー隊が同行し、災害時要援護者宅の状況を把握
- 町会内の消火器設置場所を確認し配置地図を作成



負傷者救護



小学生による放水



負傷者搬送

六本レスキュー隊（荒川区）

祭りを運営する若いメンバーを中心とした区民レスキュー隊

【取組概要】

- 町会役員と祭礼を担当する若睦会員を中心に阪神淡路大震災を教訓とし平成8年に結成。「自分の生まれ育ったところを大切に作る心」等をモットーとする
- 2ヶ月に1回、定期訓練(救助資器材取扱い、初期消火、応急救護)を実施。3年に1回、上級及び普通救命講習を開催
- 取り壊す建物等の提供を受け、実践的な訓練を実施
- 隊長から隊員に宛てた「レスキュー通信」の発行(不定期)
- 台風や大雪時などにおいての水防活動及び除雪作業等の実施



倒壊家屋からの救助



がれきからの救助



ジャッキを活用した救助

志村五桜町会（板橋区）

地域の高齢者福祉施設と顔の見える関係を築き 災害時要援護者を支援

【取組概要】

- 地域の高齢者福祉施設と災害時応援協定を締結。入所者の災害時の避難を支援
- 毎年1回、施設と町会が合同で避難誘導や応急救護等の訓練を実施するほか、定期的に情報交換を行う
- 近隣小・中学校と連携し、避難所運営に係る情報連絡会に参加
- 避難所運営に必要な知識の習得のため、防災講習会を開催



担架搬送訓練



階段避難車の使用訓練



災害時応援協定の締結

光が丘地区連合協議会（練馬区）

大規模団地のまちで進める多種多様な防災活動

【取組概要】

- 要援護者支援として英・中・韓国語による防災パンフレットを作成、配布
- 階段用避難車の区貸与事業化の際に、様々な避難車を実際に訓練で使用し、効果を区に助言。現在、52台の貸与を受け、操作訓練を継続
- 近隣住民同士や災害時要援護者との関係づくりのため、全国介護者支援協議会と合同で団地内集会所に「光が丘きずなサロン」を開設
- 災害時の相互支援のため、他県地域の住民団体と交流事業を実施



大泉北泉町会（練馬区）

住民同士顔の見える関係を重視した災害に強いまちづくり

【取組概要】

- 災害時の安否確認はもとより、日頃からの絆を深め顔の見える関係をつくるため「命のタオル」を作成・配布し、毎月1日、玄関先等に掲げる取組
- 年2回の地域の防災訓練では、地域の農家の野菜を配布したり、「こども縁日」を開催するなど、子どもや子育て世代など多くの人の参加を促進
- 中学生に対して軽可搬ポンプを使用した消火訓練を指導
- 区主催の軽可搬ポンプ操法大会に積極的に出場



鷺宿町会（足立区）

地域のつながりで命を守る

【取組概要】

- 独自に要援護者の居住地を確認の上、リストを作成し、居住地を地図に示している
- 看護師や重機の操縦など災害時に役に立つ有資格者のリストも作成、地図に示し、地域住民で協力して対応できる体制づくり
- 毎年避難所運営訓練を他町会・自治会と連携して主導的に実施
- 区民消火隊を結成し、火災時の迅速な対応に備え、区から貸与されたD級可搬ポンプを毎月点検



車椅子での避難誘導



避難所運営本部長指示



避難所運営訓練

本木一丁目南町会（足立区）

町会と病院で消火隊を結成し住宅密集地域の火災被害を軽減

【取組概要】

- 地域の病院や高齢者介護施設と災害時応援協定を締結し合同で防災訓練を実施
- 火災延焼の危険性の高い住宅密集地であることから、町会員と病院職員で消火隊を結成し、火災時の迅速な対応に備え、区から貸与されたD級可搬ポンプの定期点検と操法訓練を実施
- 町会内の消火器の位置を地図に示し、火災時の迅速な対応に備える
- 昭和20年代から実に60年以上夜警等を継続。毎月3回実施し、火災予防を啓発



足立区総合防災訓練



足立区総合防災訓練



夜警による火災予防活動

金町マンション自治会（葛飾区）

“災害時要援護者をどう支えるか” ～大規模住宅での要援護者の搬送訓練～

【取組概要】

- 昭和53年のマンション建築以来、約35年間、毎年防災訓練を継続
- 東日本大震災後、災害時要援護者対策を充実
- 要援護者が、室内に設置されている非常通報ボタンを実際に使用できるか検証する訓練を実施
- 布担架、車椅子、イーバックチェアや、住民手作りのオリジナル搬送用具を使用し、歩行困難者救出のための実践的な搬送訓練を実施



布担架での搬送訓練



非常通報ボタン操作訓練



手作りの搬送器具

高尾台自治会防災会（八王子市）

個別支援プランに基づくきめ細かな災害時要援護者避難支援対策

【取組概要】

- 東日本大震災を踏まえ、災害時要援護者避難支援対策を喫緊の課題ととらえ、地域支援組織を立ち上げて避難支援プラン(個別計画)を作成
- 多摩直下型地震を想定した発災対応型訓練を実施。消火訓練、安否確認など地域の安心・安全体制を強化
- 崩壊建物からの救出訓練、竹と毛布による担架作成と移送訓練を実施
- 防災訓練と住民交流の2部構成の「防災の集い」を春秋年2回実施



消火訓練



炊き出し訓練



竹と毛布で担架作成

高尾パークハイツA棟自衛消防隊（八王子市）

高層マンションにおける災害時要援護者避難支援対策

【取組概要】

- 平成20年、付き添いや介助が必要な人たちの避難方法を検討するため、実態調査を実施
- 平成21年、1人の要援護者に1人以上の支援者が付く支援体制を構築
- 要援護者のランクに応じたキャリダン、キャリアマット、車椅子、おんぶ紐、歩行介助による避難訓練を実施
- 集会場にて、AED講習会、要援護者と支援者の意見交換会を実施



AED操作訓練



負傷者搬送訓練



レスキューマットによる搬送

大山自治会（立川市）

「人が人に優しいまちづくり」 ～人を“繋げる”大山団地の取組～

【取組概要】

- 団地を31区に分け、区内で互いに顔が見えるよう頻りに集会を行う
- 自治会員全員に名簿への登載を義務付けて、いざというときの安否確認に利用
- 向こう三軒両隣の精神に基づき、普段から近所同士で互いの状況確認
- 避難所までの道程で防災に関するポイントを回る「ウォークラリー大会」など、住民が交流を深めながら、防災活動に自然に取組む仕組みづくり



防災ウォークラリー大会
防災クイズに挑戦



自治会防災会議



天ぷら火災訓練

下連雀若葉会（三鷹市）

大火の歴史を意識した防火・防災対策と 祭りを活用した町会活動のPR

【取組概要】

- 地名の由来が江戸時代の大火に基づくことから、住民の火災への意識が高く、消防署の指導による初期消火訓練を毎年実施
- 街頭消火器などを記載した町会独自の防災マップを作成。保存版としてラミネート加工し、各戸配布。近隣町会へも配布し、情報共有
- 町会のシンボルカラーである緑色の統一ユニフォームを作成。お祭りなどで着用して町会活動をPR



祭りの風景



町会PR用ユニフォーム



初期消火訓練

東青梅五丁目自治会（青梅市）

災害時要援護者マップ作成と防災ボランティアによる 安心・支え合いネットワーク

【取組概要】

- 「防災」をキーワードに「東五防災ボランティア」を組織
- 毎年防災ボランティア訓練を実施。避難誘導、炊き出し、消火、通報訓練や、民生委員と連携した車椅子体験など。毎年200名以上が参加
- 地域内の災害時要援護者マップを作成。65歳以上の会員を網羅し高齢者の状況に応じて色分けして表示
- 社会福祉協議会の協力により、防災ボランティアリーダー研修会を実施



車椅子取扱訓練



災害時要援護者安否確認



初期消火訓練

車返西防災委員会（府中市）

ボランティアを活用した 集合住宅における安否確認等の取組

【取組概要】

- 玄関が向い合わせで、各階に共用廊下の無い階段室型の5階建て集合住宅のため、東日本大震災後、階段ごとの10世帯内で安否確認ができるようボランティアを募り、安否確認の仕組みを構築
- 発災時に玄関ドアに貼る安否確認用のマグネットを全世帯に配付
- 9月1日の防災の日及び年末の大掃除に合わせて年2回、安否確認を含む防災訓練を実施



上ノ原まちづくりの会（調布市）

NPO法人の防災訓練プログラムを取り入れた 特色ある防災訓練「上ノ原かえっこ防災訓練」

【取組概要】

- NPO法人等が考案した、子どもがおもちゃを交換する仕組みと防災訓練を組み合わせた防災訓練プログラム「イザ！カエルキャラバン！in東京」を訓練に導入し、若年層やその保護者の訓練参加を促進
- 平成24年に「上ノ原かえっこ防災訓練」と名称を変え、新しいワークショップを追加するなど、独自の要素を取り入れ、改良を続ける
- なんでもバケツリレーや担架搬送タイムトライアルなど、ゲーム感覚で取り組める訓練を取り入れ、若年層が楽しみながら防災活動に触れられるよう工夫



シーアイハイツ町田自主防災管理組織（町田市）

高層マンションにおける災害特性を考慮した安否確認や搬送訓練

【取組概要】

- 発災時に、高層階から要救助者を円滑に搬送出来るよう、非常用階段避難車を購入、救出訓練を実施
- エレベーター使用不能時でも安否確認を迅速に行えるよう、あらかじめ各住戸に黄色いリボンを配布、災害時に外部階段手すりに掲げる仕組みづくり
- 自主防災組織や各世帯が行う防災対策を記した「防災ガイド」を作成
- 毎年「防災フォーラム」を開催。講演等を通じて意識啓発



安否確認用の黄色いリボン



防災フォーラム



非常用階段避難車

豊田団地自主防災会（日野市）

木造住宅地での発災対応訓練、災害時要援護者対策等の取組

【取組概要】

- 発災対応型総合防災訓練を実施
- 毎年の総合防災訓練時には、全世帯が安全を知らせる『黄色いハンカチ』を掲出、発災時に近隣住民が迅速に助け合える体制を構築
- 日野市のモデル事業として「災害時要援護者台帳」を作成して要援護者の支援体制を整備
- 自治会の諸活動と連携した防災研修会や給水訓練の実施



給水訓練



黄色いハンカチ作戦



児童対象の炊き出し訓練

高木町自治会防災部（国分寺市）

子どもから大人まで参加できる防災イベント 「高木町防災ファミリーひろば」

【取組概要】

- 子どもから大人まで参加でき、家族ぐるみで地域住民と関われるイベントとして「防災ファミリーひろば」を30年以上前から実施
- 初期消火、けむり体験、炊き出し等の訓練や、小学生の吹奏楽演奏など、幅広い年齢層が参加できるイベント内容
- 隣接自治会、PTA、学校長等による「地区防災協力会」に参加、「避難所運営マニュアル」を作成し、避難所開設時の対応等を検討



高木町防災ファミリーひろば



煙体験訓練



高木町防災ファミリーひろば広報

本多連合町会防災委員会（国分寺市）

「本多防災ひろば」などイベントを通じて地域の輪を広げる取組

【取組概要】

- 毎年実施している「本多防災ひろば」は平成24年度で開催30回目
- 地域の多くの関係団体の協力を得て、消火器操作体験、はしご車体験、AEDなどの訓練とともに、フリーマーケットや模擬店、産地直送販売、おはやしなども実施、来場者数300名以上
- 年に3回、消防署の協力を得て普通救命講習会を公会堂にて実施
- 地域で開催される新緑まつりでもAED操作訓練を実施



AED操作訓練



防災ひろばの開催



防災ひろばでの模擬店の出店

泉町三丁目地区連合自治防災会（国分寺市）

ゲーム感覚で楽しみながら参加できる「防災コンクール」

【取組概要】

- 昭和61年から防災コンクールを実施。防災・防火の課題を体験・解決してゴールするというゲーム感覚で防災に取り組めるもの
- 「災害時要援護者」の安否確認訓練を年1回実施。管理している災害時要援護者の在宅確認と健康状態を確認
- こどもの防災意識高揚のため「親子防災映画・観劇会」を児童館と共催で開催



防災コンクール



三角巾での応急救護



防災倉庫内の月例資機材点検

東恋ヶ窪六丁目自治会防災委員会（国分寺市）

まちづくり宣言の下、防災力の向上と住民が信頼の輪で結ばれる温かい地域を目指す取組

【取組概要】

- 平成10年に「東恋ヶ窪六丁目まちづくり」を宣言、地域住民が信頼の輪で結ばれる温かい地域を築き、次世代に引き継ぐためのまちづくりに尽力
- 毎年行う防災のつどい(防災訓練)は、初期消火や応急手当等の訓練、防災映画鑑賞会や消防用品の展示・注文受付など工夫をこらした内容
- 発災時に救出・救護活動ができるよう会員が消防署員の指導のもとロープワークを学習



防災のつどい(訓練)



リヤカーを使った避難訓練



心肺蘇生法訓練

新町地区連合自治防災会（国分寺市）

地域のお祭りを活用した防災訓練で、
若い世代との交流と防災スキルアップを実現

【取組概要】

- まち歩きを通してブロック塀の点検や空き家の確認、一時避難場所や消火栓の位置確認作業などを実施
- 小学校で毎年開催される、「春よこい」「こどもまつり」などの祭りに参加。コマまわしなどの遊びを教えるとともに、初期消火訓練や応急救護訓練を行い、若い世代との交流と防災スキルアップの両方を実現
- 中学校での防災避難訓練に参加、防災倉庫内見学や集団下校に同行



車椅子体験



集団下校訓練



防災倉庫見学

戸倉自治会中・西・北地区防災会（国分寺市）

地域で先駆けて「災害協力農地」の仕組みを創設

【取組概要】

- 地区が東西に長く、住民が発災後すぐに近隣公園等に避難できないため、地元農家と協議し、緊急時に待避所として使用できる「災害協力農地」を地域で先駆けて創設
- 地区内の福祉施設と連携して、毎年、避難誘導訓練を実施。一時避難場所に集まり安全が確認でき次第、各施設に避難誘導に赴く
- 独自のホームページを立ち上げ、活動報告やイベント告知を掲載



災害協力農地



起震車体験訓練



炊き出し訓練

光町北部自治会（国分寺市）

神社を拠点にした防災訓練や子ども祭り、井戸端会議などで地域コミュニティを活性化

【取組概要】

- 近隣の神社を拠点として盆踊りや子ども祭り、防災訓練を実施、地域コミュニティの活性化を図る
- 避難所指定の学校で、市職員や学校、PTA等と避難所運営について定期的に協議。避難所開設時の市との協力体制等を検討
- 地域にある井戸の水質検査や清掃、情報交換等を行う井戸端会議で、日頃から地域の連携を図る



井戸端会議



地域耐震講習会



緊急カード発行

戸倉自治会東地区防災会（国分寺市）

大規模な訓練による住民の災害対応力と防災意識の向上

【取組概要】

- 市・消防署・消防団・警察署と連携し、大規模な防災訓練を毎年実施
- 市内の広域公園にて、はしご車や起震車などの訓練、煙体験、初期消火訓練、通報訓練、ひたくり防止訓練などを実施
- 炊き出し訓練では、すいとんやカレーなどを自前の炊き出し釜で調理
- 子ども連れや若い世代の参加も多いため、幼児や小学生のレサシアンを使つてのAED訓練も実施。毎年200名以上が参加



AEDの操作訓練



多くの地域住民でにぎわう防災訓練



防災訓練のチラシ

北二丁目みどり会（国立市）

「ためになるマップ」の作成など防災と福祉を結びつける取組

【取組概要】

- 今後の防災対策には福祉の視点が必要との認識から、地域の医療・介護情報等を掲載した「ためになるマップ」を作成。配布を通じて地域の要援護者の状況を把握
- 川や池などの水利が無い地区のため、雨水利用の200リットルタンクを、住民宅の庭先に50mメッシュ以内で設置
- 倒壊物からの救出救助訓練や、大型のこぎり等での切断実習等を実施



雨水タンク



削岩機の使用訓練



ふれ愛まつり

南田園四地区自主防災組織（福生市）

4つの自主防災組織が合同で行う水防訓練を始めとする防災活動

【取組概要】

- 市内で最も低い地域に位置するため、多摩川の増水や土手の決壊に備え、4つの自主防災組織が合同で水防訓練を実施
- 土嚢や家庭にあるゴミ袋等を利用しての浸水防止活動訓練を実施
- 三角巾による処置、心肺蘇生法及びAED操作の応急救護訓練を実施
- 災害ボランティアセンターと連携して地域内の避難経路、危険箇所、消火栓等を歩いて確認



救命救護訓練



炊き出し訓練



合同水防訓練

東寺方自治会（多摩市）

継続的な防災訓練と夜警による安全安心なまちづくり

【取組概要】

- 年1回の定期的な防災訓練を通じて、子供から高齢者まで実践的な初期消火活動や救助用資機材の取扱方法を訓練
- 平成19年には、関係団体など38団体が参加する大規模な訓練を企画、災害時要援護者による避難訓練を取り入れるなど実践的な内容とした
- 住宅用火災警報器の費用を自治会費で一部負担して共同購入
- 平成15年から毎週日曜日の夜間に交替でパトロールを実施



東長沼自治会自主防災組織（稲城市）

将来の防災を担う子供たちの育成 ～地域の和と絆を育む活動～

【取組概要】

- 中学生など若年齢層を対象に防災訓練を企画し、消火訓練や炊出し訓練を実施するほか、学校の避難訓練に参加し、集団下校を共に実施
- 自主防災組織でFacebook、Twitterを立ち上げ、防災イベントや出来事などの地域内の情報を迅速に発信し、幅広い世代に情報提供
- 民生児童委員や市福祉部と連携し災害時要援護者の情報の把握に努め、対象者の自宅を訪問し防災マップや防災グッズ(ケミカル簡易ライト)を配布



部門Ⅱ 地域住民と地域コミュニティー・事業者等との連携

区市町村名	団体名	取組内容
中央区	湊一丁目町会	防災資機材展示会を活用し、近隣事業所の参加を促進
港区	港区立小中一貫教育校お台場学園港陽小・中学校、お台場地区防災協議会	お台場学園防災Jr. ティーム～学校から広がる地域防災の輪～
港区	港南防災ネットワーク	高層住宅における避難生活の仕組みづくり
港区	芝浦小地区防災協議会	町会・自治会・事業所を一つにした地域防災ネットワーク
新宿区	新宿駅周辺防災対策協議会	「新宿ルール」で震災時の混乱防止と被害抑制を目指す
新宿区	四谷地区町会連合会	女性の視点による避難所運営検討や中学生による防災訓練等、幅広い取組を実施
世田谷区	若林町会	防災部と各丁目ネットワークが連携した複合的な防災活動
世田谷区	玉川町会	二子玉川物知りマップやご近助広場で新旧住民が一体となったコミュニティを形成
豊島区	南長崎4・5・6丁目防災まちづくりの会	「自分たちで調査、自分たちでまちを改善する」～公園を活用した防災まちづくり活動～
豊島区	千川中学校・PTA・町会地域貢献チーム	地域と学校の連携により地域防災の次世代を育む取組
葛飾区	常盤中学校避難所運営会議	“助けられる人から助ける人へ！”～学校と地域が一体となった防災訓練～
八王子市	中野町甲和会	地域と大学が連携して取り組む防災まちづくり
武蔵野市	大野田地域防災の会	地域の小中学校、医療機関、福祉施設等との連携による様々な防災活動
武蔵野市	一小地域防災ネットワーク	地域の小学校、地域医療機関等との連携による避難所運営の取組
昭島市	あきしま・街づくり市民会議・なかがみ	自治会連合会、消防団、消防署、学校の連携による防災まちづくり活動
小金井市	松風防災会	自主防災会から地域へ広がる防災の輪～隣接町会や地元大学と合同での防災訓練～
小平市	東小川橋地区防災対策連合会、社会福祉法人黎明会	地域と社会福祉施設との連携による災害時要援護者800名を災害から守る活動
武蔵村山市	学園自治会自主防災会	自治会から発信する地域への防災安全活動
あきる野市	西秋留地区防災・安心地域委員会	多種多様な団体との連携による地域防災力とコミュニティ強化に向けた取組

湊一丁目町会（中央区）

防災資機材展示会を活用し、近隣事業所の参加を促進

【取組概要】

- 町会の資機材の備蓄を周知するため、防災資機材展示会を実施。平成24年度で11回目。近隣の事業所が来やすいよう平日昼に行い、合わせて初期消火訓練やAEDの講習、起震車による地震体験等も実施
- 区の高齢者福祉課と連携し、災害時要援護者個別支援シートの策定に取り組む。ワークショップや検討協議会で検討し、マニュアルを策定



防災資機材の展示



災害時要援護者の避難受付



放水訓練

港区立小中一貫教育校お台場学園港陽小・中学校、 お台場地区防災協議会（港区）

お台場学園防災Jr.チーム ～学校から広がる地域防災の輪～

【取組概要】

- 9月～11月に全生徒を班分けし、初期消火訓練・救命救急訓練・炊き出し訓練・要救護者搬送訓練を実施
- 地域総合防災訓練時には、防災Jr.チームが住民等の参加者へ訓練の指導や訓練内容を紹介
- 東日本大震災で学校が避難所となった際、お台場地区防災協議会と共に防災Jr.チームが率先して炊き出し、毛布等の配布を行った



救護・援護班



設営・搬送・誘導班



消火班

港南防災ネットワーク（港区）

高層住宅における避難生活の仕組みづくり

【取組概要】

- 各居住棟内に避難場所を指定し、発災時には棟ごとに避難生活をする仕組みを推進
- 区総合防災訓練では企画・設営・運営に参加。大規模集合住宅が多い地域特性から「長周期地震動体験装置」を東京消防庁より配備、体験
- ホームページの作成や写真・映像を多く取り入れた判りやすい広報活動。地域特性や被害想定を伝えることで、自助の意識を啓発



芝浦小地区防災協議会（港区）

町会・自治会・事業所を一つにした地域防災ネットワーク

【取組概要】

- 町会・自治会、PTA、事業所等が連携して防災活動を展開
- 区と連携し、年1回の防災訓練(内容検討・会場運営・物資提供)を実施
- 地域の小学校と連携し、各学年に応じた防災教育(消火器の取扱訓練、バケツリレー訓練、防災工作、防災クイズ、炊き出し訓練等)を実施
- 応急救護講習会を10年以上継続、これまでに500名以上の地域住民が、応急救護技術を取得



新宿駅周辺防災対策協議会（新宿区）

「新宿ルール」で震災時の混乱防止と被害抑制を目指す

【取組概要】

- 震災時の対応策として「新宿ルール」を策定し、構成機関内で連携を取りながら推進活動を展開
- 震災時の混乱防止に向けた帰宅困難者対策訓練を実施
- 新宿駅周辺での防災対策の連携強化を図るため、企業と区で「新宿西口地域防災サミット」「防災シンポジウム」を開催
- 基礎知識を身につけるセミナー、実践的スキルを習得する講習会を開催



新宿ルール



帰宅困難者対策訓練



新宿西口地域防災サミット

四谷地区町会連合会（新宿区）

女性の視点による避難所運営検討や 中学生による防災訓練等、幅広い取組を実施

【取組概要】

- 地域内6か所の避難所で「避難所運営管理訓練」を毎年実施
- 中学生が訓練に参加、「自分たちのまちは自分たちで守る」意識を醸成
- PTA、町会女性部らで「防災カフェ」を開催し、「女性の視点による避難所運営」について検討
- 地域住民等のボランティアとNPOが共同運営する「四谷ひろば」（旧四谷第四小）では、年1回の避難所訓練、年2回の自主防災訓練を実施



避難所運営管理訓練



防災カフェの開催



中学生による仮設トイレ設置訓練

若林町会（世田谷区）

防災部と各丁目ネットワークが連携した複合的な防災活動

【取組概要】

- 昭和63年「防災部」が発足、年1回の総合防災訓練を実施
- 多数の住民参加を促すため各丁目毎に年1回路地裏などで「街かど防災教室」を開催
- 平成11年、1万世帯を超える大規模町会の特色を踏まえ、丁目毎のネットワーク組織づくりに着手、今日まで一定のメッシュ化(班体制の確立)を達成
- 地域内の大学、企業等と災害時の協定を締結し、町会主催の「街かど防災教室」「同時多発発災対応型防災訓練」などに参加いただき、地域防災力の強化を図る



排水栓からの
街頭スタンドパイプ放水訓練



街かど防災教室



住民支援協力員と大学生連携の
災害時要援護者避難誘導

玉川町会（世田谷区）

二子玉川物知りマップやご近助広場で 新旧住民が一体となったコミュニティを形成

【取組概要】

- 再開発に伴う1000世帯の新住民との交流のため、「二子玉川物知りマップ」を作成・配布。新旧住民の一体的コミュニティ形成を図る
- 町内100メートル四方に一箇所を目処に「ご近助広場」を選定。ここを拠点に発災時に近隣同士で安否確認や要援護者の救出等を行う
- 「ご近助広場」等を伝える「二子玉川震災対策マップ」を町内全戸配布
- インターネットの一斉メール「災害時・玉川携帯ネット」を立ち上げ



二子玉川震災対策マップ



地域の防災会議



ご近助広場

南長崎4・5・6丁目防災まちづくりの会（豊島区）

「自分たちで調査し、自分たちでまちを改善する」 ～公園を活用した防災まちづくり活動～

【取組概要】

- プール跡地の早期公園化を各町会と連携して区へ提言。区と協働で公園づくりを行い、防災機能を備えた「南長崎はらっぱ公園」が誕生
- 公園を育てる会と連携して、同公園の使い方マニュアル作成に取り組む
- 年三回程度、同公園でイベントを開催し、防災トイレの利用方法の説明、かまどベンチを使用しての炊き出し等を実施
- 歩道橋の撤去活動や美化活動など、さまざまな地域活動を展開



公園イベントでの普及活動



マニュアル作り



防災トイレの組立訓練

千川中学校・PTA・町会地域貢献チーム（豊島区）

地域と学校の連携により地域防災の次世代を育む取組

【取組概要】

- 中学生がD級ポンプ消火隊を結成。夏季休業中に生徒約80人が消防・消防団・町会等の指導のもと、5日間にわたりD級ポンプ操法訓練を実施
- 地元町会、区、消防署の主催する防災訓練やふれあいコンクール等の放水訓練イベントに千川中消火隊として参加
- 消防署の指導で、住民と一緒に簡易担架づくりや応急手当を訓練
- 防災資機材倉庫や消火栓等の位置を確認する町内めぐりを実施



放水訓練イベントでの操法披露



中学生の宿泊防災訓練



防災コンクール

常盤中学校避難所運営会議（葛飾区）

“助けられる人から助ける人へ！”
～学校と地域が一体となった防災訓練～

【取組概要】

- “助けられる人から助ける人になろう”をテーマに、常盤中学校生徒、教職員、地元町会など総勢約750人で、防災訓練・避難所運営訓練を実施
- 地域に根差した人材を育てることを目的に、地域の自治町会（金町常盤町会）が講師となり、ボート組立訓練やトイレ組立体験、救助訓練などの11のメニューを中学校で実施
- 生徒は、3年間で11のメニュー全てを経験、習得する仕組み



ボート組立訓練



災害用トイレ組立訓練



倒壊家屋からの救助訓練

中野町甲和会（八王子市）

地域と大学が連携して取り組む防災まちづくり

【取組概要】

- 地域内にキャンパスを持つ大学の新生オリエンテーションに甲和会の住民も参加し、八王子キャンパスサバイバルマップを作成
- 大学生らと共に町歩きを行い、地域の点検を実施。防災面での課題を整理し、協働で冊子「防災への備え」を発行、全世帯へ配布
- 甲和会と大学で「防災計画委員会」を組成し、災害時要援護者の支援体制を構築。防災訓練を実施し、必要に応じて支援体制を改善



簡易担架による搬送訓練



地域内点検まとめ作業



防災マップまちづくり地域内点検

大野田地域防災の会（武蔵野市）

地域の小中学校、医療機関、福祉施設等との連携による様々な防災活動

【取組概要】

- 町会がない地域において、コミュニティセンター・地域福祉の会を中心として地域に呼びかけ、避難所運営組織を発会
- 避難所となる学校にある防災設備を確認、資器材の運転などを訓練
- 地域の医療機関と連携したトリアージ訓練の実施
- 防災ウォーキングを実施し、災害時の危険箇所や防災設備を確認
- 地域防災についての先進事例を学ぶバス研修会の実施



発会式



AED操作講習



応急給水訓練

一小地域防災ネットワーク（武蔵野市）

地域の小学校、地域医療機関等との連携による避難所運営の取組

【取組概要】

- 町会がない地域において、地域福祉の会が中心となり地域に呼びかけ、避難所運営組織を発会
- 避難所となる小学校と合同で訓練を実施。宿泊体験訓練や、学校授業中の発災を想定した訓練など、学校などと連携して企画・運営
- 合同訓練では、医療救護所の設置や傷病者への対応等を訓練するために、医師会や接骨師会、薬剤師会などと協力し、訓練を企画、実施



小学生の避難訓練



安否確認訓練



トリアージ訓練

あきしま・街づくり市民会議・なかがみ（昭島市）

自治会連合会、消防団、消防署、学校の連携 による防災まちづくり活動

【取組概要】

- 毎年、6月に昭島市自治会連合会第2・第5・第6ブロックと合同で防災訓練を実施。通報訓練、応急救護訓練、応急担架の作製などを訓練
- 毎年2月の餅つき大会で防災に関わる資料等を配布し啓発
- 毎年11月に立川防災館の体験見学を行い、防災意識を向上
- 「立川断層と減災について」など防災に関する講演会や、防犯講習会、芸能祭、国際交流など、様々な分野において活動を展開



三角巾を用いた応急救護



AED操作訓練



立川防災館の体験見学

松風防災会（小金井市）

自主防災会から地域へ広がる防災の輪 ～隣接町会や地元大学と合同での防災訓練～

【取組概要】

- 「自分たちの町は自分たちで守る」をテーマに、資機材の選定・購入・取扱い訓練等、全て防災会主導で実施
- 隣接町会や区域内的の大学と合同で防災訓練等を実施
- 市の総合防災訓練の「市民の救助」パートにおいて、準備の段階から参画。当日は参加市民に、市民にできる救助方法や資機材取扱いを指導
- 防災会会員に対し、救助器具等の使用訓練を定期的に実施



本部の立ち上げ



要援護者の安否確認・避難支援



救助器具等の使用方法の指導

東小川橋地区防災対策連合会、社会福祉法人黎明会（小平市）

地域と社会福祉施設との連携による 災害時要援護者800名を災害から守る活動

【取組概要】

- 域内にある社会福祉施設等7事業所と応援協定を締結し、災害時に要援護者800名を災害から守ることを目指す
- 協定に基づき、社会福祉施設と連携した訓練を年2回実施。社会福祉施設で実施するイベント等にも参加するなど平素から連携
- 自主防災組織独自で可搬ポンプを保有、毎月1回資器材を点検
- 河川を活用した消火訓練を実施。平日の昼間の災害に備えて、女性消火隊を結成
- 多摩直下地震等の防災対策に関する研究会を実施



学園自治会自主防災会（武蔵村山市）

自治会から発信する地域への防災安全活動

【取組概要】

- 平成22年、ゲリラ豪雨等の被害の出やすい商店街において、市内で初めて自治会独自の水防訓練を商店会と連携して実施
- 平成24年、商店会の空き店舗活用及び地域の安全見守りのため、「子ども・高齢者の安全見守り絆ハウス学園」を開設。見守り活動の拠点とする
- 地元農園でのみかん狩りなど親子向けイベントの中での防火安全教室
- 住宅、事業所等への地域安全パトロール、年末夜間パトロールを実施



西秋留地区防災・安心地域委員会（あきる野市）

多種多様な団体との連携による地域防災力と コミュニティ強化に向けた取組

【取組概要】

- 町内会・自治会、消防署、消防団、赤十字奉仕団、ボーイスカウト、学校、社会福祉協議会等が連携して防災訓練を実施
- 災害発生時に迅速な対応が取れるよう、平常時より地域内各世帯の安否確認票を作成
- 災害時要援護者と常時コミュニケーションを取り、顔の見える関係づくり
- 地域特性を勘案した避難所運営マニュアルを作成、訓練で内容を検証



部門Ⅲ 企業間の連携

区市町村名	団体名	取組内容
台東区	アサヒ商店街振興組合	近隣町会と連携したサマーフェスティバルでの防災訓練
目黒区	自由が丘商店街振興組合	Wi-Fiを活用した、地域の来訪者への災害時情報提供体制の構築
杉並区	杉並建物総合管理事業協同組合	杉並発～企業等の社会貢献と避難所運営支援～

アサヒ商店街振興組合（台東区）

近隣町会と連携したサマーフェスティバルでの防災訓練

【取組概要】

- 昭和50年以來、毎年、商店街のサマーフェスティバルで防災訓練を実施。商店街の従業員や近隣町会が連携し、地域住民約300名が参加
- 各種消火資機材を使用した消火訓練や、応急救護訓練、震度体験など、消防署、地元消防団等と連携し実施
- 商店街のイベントに併せての実施により、小さい子どもから高齢者まで家族での参加も多数



消火栓からの放水訓練



起震車による震度体験



サマーフェスティバルのチラシ

自由が丘商店街振興組合（目黒区）

Wi-Fiを活用した、地域の来訪者への災害時情報提供体制の構築

【取組概要】

- 通信会社と協働で「自由が丘 光Wi-Fiシティー計画」を展開。無料のWi-Fiインターネット接続環境を整備し、平常時は商店街の情報を発信
- 災害時にはオフィシャルHP内の災害時用ページで、伝言ダイヤルや伝言板の使用、周辺の電車情報、避難場所情報などを発信
- 毎年、自由が丘町会等の近隣町会で行われている複数の防災訓練に参加、組合員の初期消火や救出救助能力を向上



杉並建物総合管理事業協同組合（杉並区）

杉並発～企業等の社会貢献と避難所運営支援～

【取組概要】

- 協定加盟各社の代表者が、『社員を避難所運営連絡会に派遣、各社の得意分野を活かしたマニュアル整備や避難所課題検討等を支援、更に、訓練を体験・経験すること』を社会貢献事業と位置付ける
- 連絡会での体験・経験を各社の職場会・研修会にて、全社員に周知、企業全体に浸透
- この取組の普及により、勤務時間中は勤務地近くの避難所で、夜間休日は住所地近くの避難所で、災害に対応できる避難所運営マンパワーとなる





登録番号(24)142号

平成25年4月 発行 東京防災隣組第二回認定団体活動事例集

編集・発行 東京都総務局総合防災部防災管理課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5388)2549

印刷所 株式会社シンゾークリエイト
東京都新宿区中落合一丁目6番8号
電話 03(3950)7235

